

1章 正の数・負の数 (教科書 p12~p15)

組 番 名前

- 1 教科書 12・13 ページを読みましょう。  
左右両ページの日本一には、どんな数が使われているでしょうか。  
その中で、これまでに見たことのない数はどれですか。

$-41.0^{\circ}\text{C}$ ,  $66000000\text{m}^3$  など、  
見たことのない数  $-0.93$ , 「-」がついた数

- 2 教科書 14 ページの「どんなことがわかるかな」を読みましょう。  
東京と旭川の気温はそれぞれ、どんな温度を示していますか。

・東京の温度は、  $6^{\circ}\text{C}$  ・旭川の温度は、  $-6^{\circ}\text{C}$

※ 教科書 14 ページを読み、下の \_\_\_\_\_ にあてはまる語句を書き込みましょう。

「 $-6^{\circ}\text{C}$ 」は、マイナス  $6^{\circ}\text{C}$  と読み、0  $^{\circ}\text{C}$  より  $6^{\circ}\text{C}$  低 い温度を示します。

- 3 教科書 14 ページの問1に取り組みましょう。

(1)  $-3^{\circ}\text{C}$  (2)  $-2.5^{\circ}\text{C}$

- 4 教科書 14 ページの問2に取り組みましょう。

旭川  $-4.8^{\circ}\text{C}$ , 札幌  $-4.3^{\circ}\text{C}$ , 釧路  $-4^{\circ}\text{C}$ , 青森  $-1^{\circ}\text{C}$

- 5 教科書 15 ページの上を読み、次の \_\_\_\_\_ にあてはまる語句を書き込みましょう。

- ①  $-3$ ,  $-3.5$ ,  $-\frac{1}{2}$  のように、0より小さい数を 負の数 といいます。  
② 負の数に対して、 $5$ ,  $0.5$ ,  $\frac{3}{4}$  のような、0より大きい数を 正の数 といいます。  
③ 0は、正の数でも負の数でもない 数です。  
④ 「+」を正の符号、「-」を 負の符号 といいます。

- 6 教科書 15 ページの問3に取り組みましょう。

(1)  $-12$  (2)  $+9$   
(3)  $+1.5$  (4)  $-\frac{2}{3}$

1 教科書 15 ページ 14 行目から読み、下の \_\_\_\_\_ にあてはまる語句を書き込みましょう。

正の整数 1、2、3、..... を、 自然数 といいます。

2 教科書 15 ページの問 4 に取り組みましょう。

自然数は、 4, +12

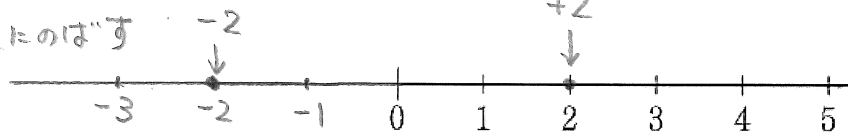
整数は、 -5, -6, 4, 0, +12

3 教科書 16 ページの「どうすればいいかな」を読みましょう。

数直線上に、+2 を表す点を示しましょう。

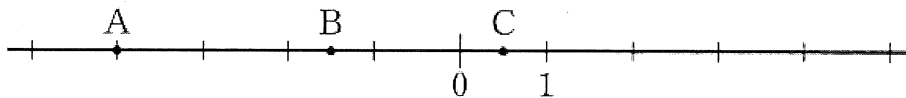
また、-2 を表す点を示すには、どうすればよいでしょうか。

(例) 数直線を左にのぼす



4 教科書 16 ページの問 5 に取り組みましょう。

下の数直線で、A、B、C にあたる数をいいなさい。

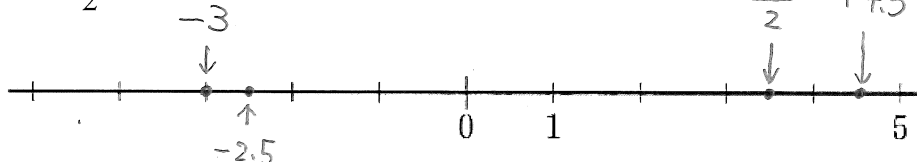


A: -4 B: -1.5 C: 0.5

5 教科書 16 ページの問 6 に取り組みましょう。

次の数を、下の数直線上に表しなさい。

-3,  $\frac{7}{2}$ , +4.5, -2.5



6 教科書 16 ページの練習問題 に取り組みましょう。

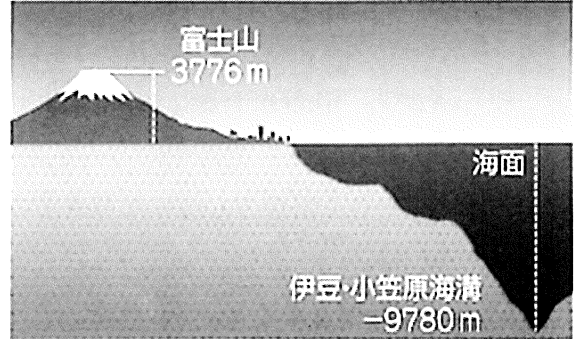
① (1) +18 (2) -36 (3)  $+\frac{1}{3}$  (4) -0.8

② 負の数 -3, 2, -10,  $-\frac{5}{6}$ , -1, -0.1 自然数 +9, 6

1 教科書 17 ページの「どんなことがわかるかな」を読みましょう。

右の図で、「富士山 3776 m」は、海面から頂上までの高さを表しています。

「伊豆・小笠原海溝 -9780 m」は、どんなことを表していますか。



(例) 海面から海底までの深さ  
など

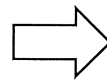
山の高さや海の深さ、収入と支出のように、互いの反対の性質をもつと考えられる量は、正の数、負の数を使って表すことができます。

互いに反対の性質をもつと考えられる量を書き出してみましょう。

(例) 増加と減少, 利益と損出 など

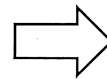
2 教科書 17 ページの例1と例2を確認しましょう。

例1 5000円の収入を、+5000円で表すとき、  
-4000円は、何を表していますか。



4000円の支出

例2 ある地点から2km東の地点を、+2kmで表すとき、  
3.5km西の地点は、どう表せますか。



-3.5km



3 教科書 17 ページの問1に取り組みましょう。

1000円の利益を+1000円で表すとき、500円の損失はどう表されますか。

(※損失・・・財産や利益などを失うこと)

-500円

組 番 名前

☆ ある量を考えるとき、基準を決めて、それからの増減や過不足などを、正の数、負の数で表すこともあります。

- 1 教科書 18 ページの例3を読み、下の \_\_\_\_\_ に書き込みましょう。  
バスケットボールの試合で、10 得点することを目標にしました。  
このとき、目標としていた得点との違いは、

16 得点取ったとすると、  +6  得点

7 得点取ったとすると、  -3  得点

- 2 教科書 18 ページの間2に取り組みましょう。

ある中学校の図書委員会では、読書週間の図書室の利用者数の目標を、1 日 200 人としていました。読書週間に、図書室を実際に利用した人数を調べたところ、下の表のようになりました。

右の表の空欄を埋めなさい。

曜日	月	火	水	木	金
利用者数(人)	210	195	203	193	200
目標(200人)との違い	+10	-5	+3	-7	0

☆ 反対の性質をもつ量は、例えば、「多い」、「少ない」のように、2つのことばを使って表しますが、負の数を使うと、その一方のことばだけで表すことができます。

例 「5個少ない」を「多い」を使って表すと、「-5個多い」となります。

- 3 教科書 18 ページの間3に取り組みましょう。

(1) 4個少ない [多い]

-4個多い

(2) 6 cm 短い [長い]

-6 cm 長い

(3) 3 kg 軽い [重い]

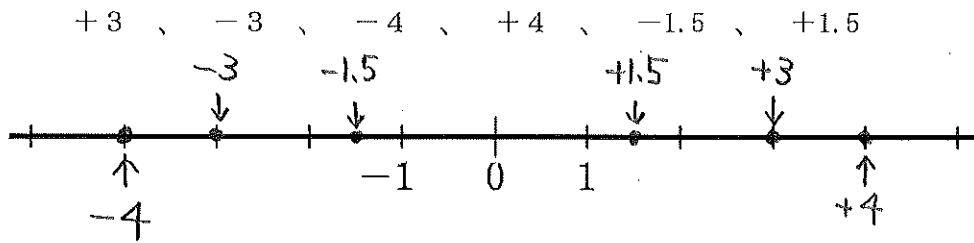
-3 kg 重い

(4) 10 円たりない [余る]

-10 円余る

1 教科書 19 ページの「どんなことがわかるかな」を読みましょう。

次の数を、下の数直線上に表しましょう。



数字の部分と同じ2数について、どんなことがいえますか。

(例)

0 からの距離が等しい。

2 教科書 19 ページを読み、下の \_\_\_\_\_ にあてはまる語句を書き込みましょう。

① +3 に対して -3、-4 に対して +4 のように、+ と - の符号をとりかえた数をつくることを、

符号を変える

といいます。ある数と、その符号を変えた数とは、数直線上では、0 に

ついて反対側にあつて、0 からの距離が 等しく なっています。

② 数直線上で、0 からある数までの距離を、その数の 絶対値 という。

③ 0 の絶対値は、0 です。

3 教科書 19 ページの 例1 を確認し、問1 に取り組みましょう。

	-5	+8	-3.5	$\frac{3}{4}$
絶対値	5	8	3.5	$\frac{3}{4}$
符号を変えた数	+5	-8	+3.5	$-\frac{3}{4}$

1章 正の数・負の数 (教科書 p20~p22)

組 番 名前

1 教科書 20 ページを読み、問2に取り組みましょう。

(1)

大きい数

3

絶対値が大きい数

-4

(2)

大きい数

-2

絶対値が大きい数

-5

2 数の大小について、まとめましょう。

<数の大小>

- ・ 正の数は、負の数より 大きい。
- ・ 正の数は0より 大きく、絶対値が大きいほど 大きい。
- ・ 負の数は0より 小さく、絶対値が大きいほど 小さい。

3 教科書 20 ページの問3に取り組みましょう。

(1)

4

<

5

(2)

-3

>

-7

(3)

-1.6

<

-0.6

(4)

$-\frac{3}{8}$

>

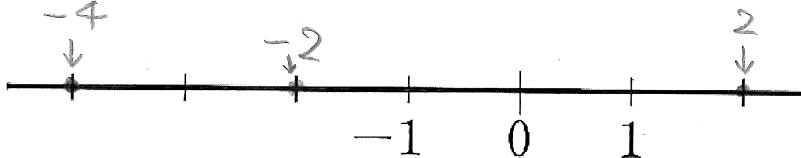
$-\frac{5}{8}$

☆ 3つの数の大小も、不等号を使って表すことができます。

例 2、-3、-4 の大小は、 $-4 < -3 < 2$  と表すことができます。

4 -4、2、-2の大小関係について、下の数直線上に表しましょう。

また、不等号を使って表しましょう。



不等号を使って表すと、 $-4 < -2 < 2$